
教育計画・予算

1	学力向上プラン	P 5
2	体力向上プラン	P 6
3	コミュニティ・スクール（CS）	P 7
4	教育予算	P 8

当別町学力向上プラン (R4.9月~R5.8月)

【基本理念】社会を背負う、世界にも通用する『確かな学力・豊かな心・健やかな体』を備えた人の育成

【指 標】令和5年度全国学力・学習状況調査で、正答率が全国平均を10ポイント上回ることを目指し、管内上位の学力を維持する。

【方 針】 1. 授業改善（課題探求型授業）の積極的な推進
2. 学級経営・学習規律等の生徒指導の強化
3. 全教職員の協働による学力の推進

【具体的な方策】

《学 校》

データ分析に基づく学校改善プランの作成と実行

【改善プラン作成の視点】

- ・ 授業改善（課題探求型授業）
- ・ 教職員の協働による学習指導、生徒指導
- ・ 「学びのハンドブック」の活用
- ・ 9年間の学びの連続性

《教育委員会》

授業改善への支援

- ・ 加配教諭、時間講師、学習支援員等の配置
- ・ 学力向上推進講師の配置
- ・ ICT機器の活用推進（MEXCBT、学習eポータル他）
- ・ 地域の教育力の活用

教職員の資質向上への支援

- ・ 指導主事による指導助言
- ・ 教職員研修の充実

授業外の学習支援

- ・ 放課後及び土曜学習会の充実
- ・ 長期休業中の学習支援
- ・ 読書環境の整備・充実

学力向上

【今後のスケジュール】

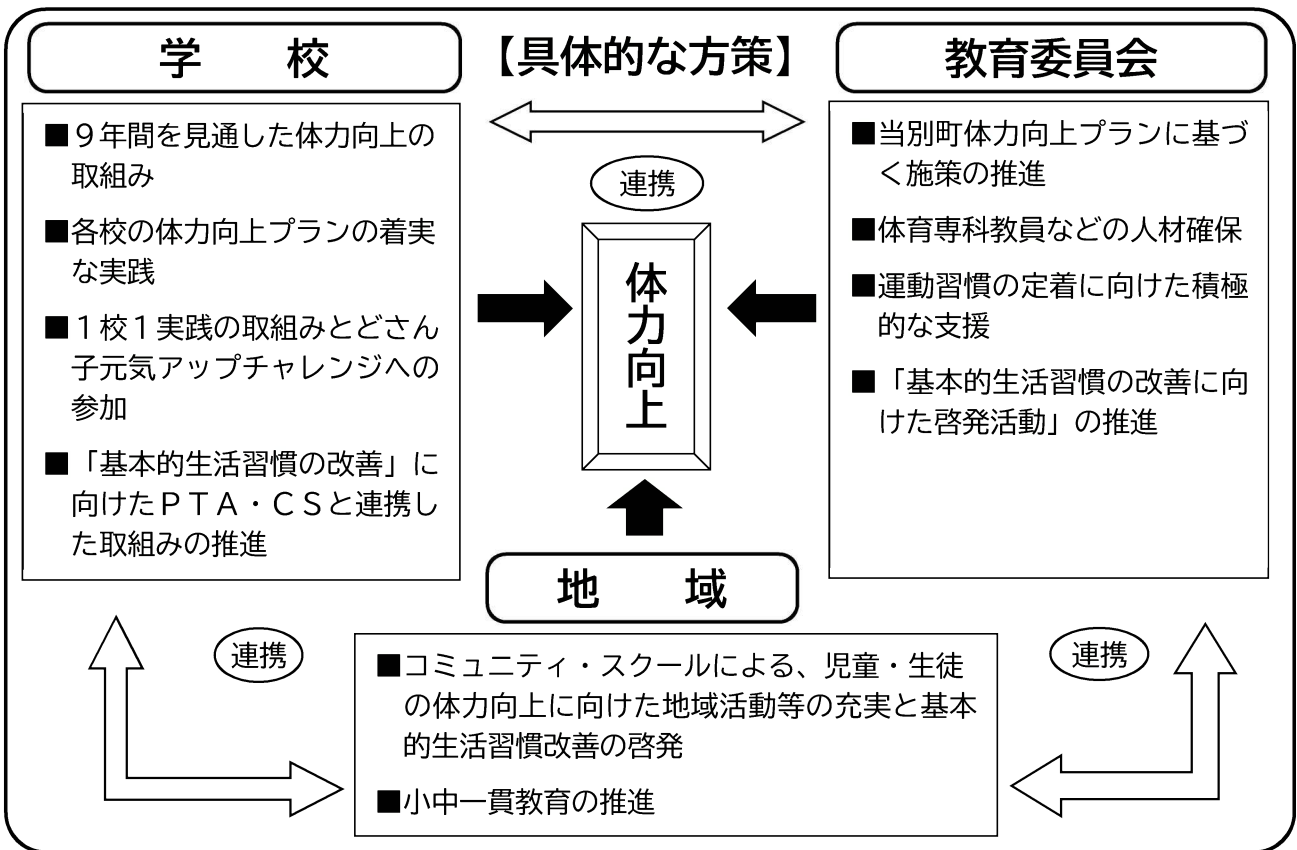
10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
← 改善プランの実践・見直し →							調査 実施			評価と 分析	改善プラン 策定

当別町体力向上プラン

【目標】 全国体力・運動能力、運動習慣等調査で体力合計点の全国平均をめざす

【課題】

- 令和4年度の体力合計点が中学校女子を除き、全国を下回っている。小学生は、柔軟性、持久力や疾走能力の得点が低く、中学生では、柔軟性、敏捷性や瞬発力の得点が低い。バランスの取れた体力の向上をより一層取り組むことが大切である。
- 家でのテレビやDVD、ゲーム機、携帯、パソコンなどの画面を5時間以上見ている割合が、小・中学校の女子で全国平均を上回っていることから、基本的生活習慣の改善が課題である。



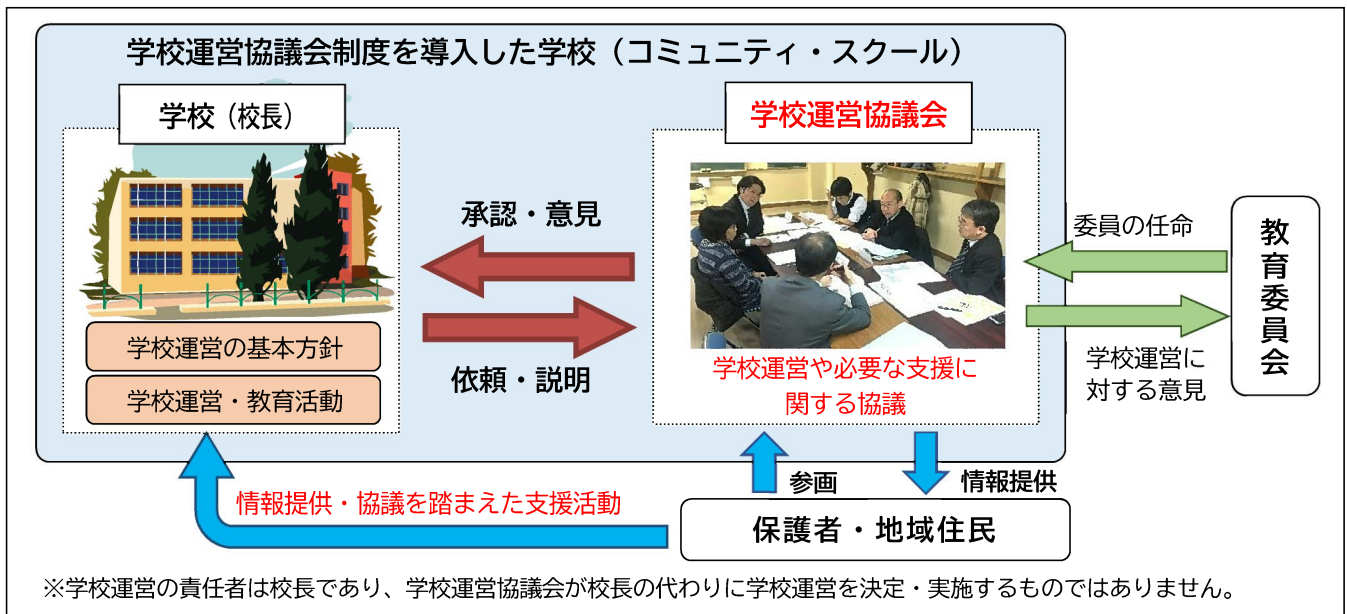
【年間計画】

月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
学校	各学校の体力向上プランの見直し		準備	体力調査実施			結果分析・評価					
教委	体力向上プラン作成		学校への支援 PTA・CSとの連携									結果分析・評価
	体力向上プランの着実な実践											

➤ 3 コミュニティ・スクール（CS）

地域とともにある学校＝学校運営協議会設置校（CS）

学校運営協議会は、任命された保護者や地域の方々が一定の権限を持って学校運営に参画する組織で「地域とともにある学校」づくりを推進します。



義務教育9年間の学びの充実のために

小中一貫教育の充実のためには、教育課程だけでなく、子どもたちの家庭や地域の中での学び、発達段階に応じた心の成長等も一緒に考える必要があります。そこで、保護者や地域住民と子どもたちの義務教育9年間について話し合う場の設置が必要です。

学校運営協議会では、小中一貫教育を地域全体で支えるため、学校支援に関する方向づけや調整等の協議を行うことで、学校運営全般への参画を促します。

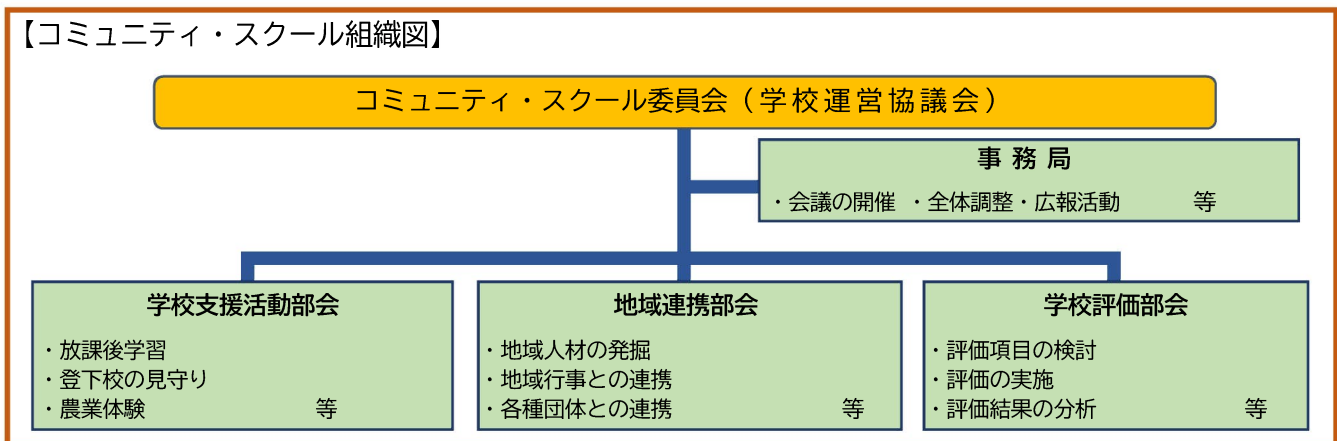
当別町では、平成29年度に各中学校区（当別地区・西当別地区）に学校運営協議会を設置しました。基本的な活動として、以下の3点を行いながら、学校支援活動や地域連携活動等、段階的に発展させ、「地域とともにある学校」を作ります。

基本的な活動

- (1) 「学校運営に関する基本方針」承認
- (2) 学校運営についての意見
- (3) 学校評価

【委員数】令和5年5月1日現在
 当別地区 11名
 西当別地区 22名

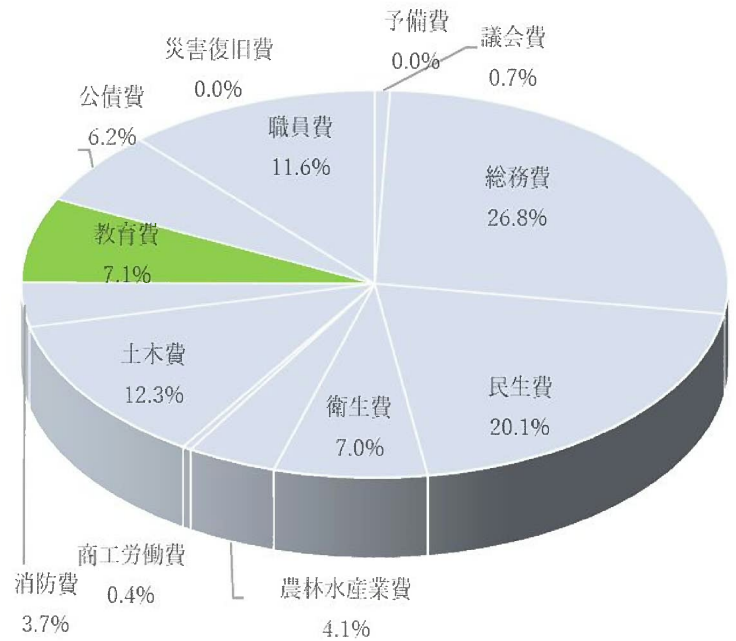
【コミュニティ・スクール組織図】



➤ 4 教育予算

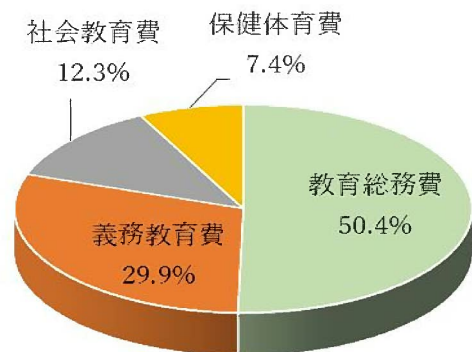
(1) 令和5年度 一般会計当初予算額

区分	金額 (千円)	構成比 (%)
議会費	85,381	0.7
総務費	3,593,859	26.8
民生費	2,698,966	20.1
衛生費	933,360	7.0
農林水産業費	549,515	4.1
商工労働費	50,257	0.4
土木費	1,645,398	12.3
消防費	497,900	3.7
教育費	955,657	7.1
災害復旧費	5	0.0
公債費	829,044	6.2
職員費	1,559,879	11.6
予備費	5,000	0.0
歳出合計	13,404,221	100.0



(2) 令和5年度 教育費当初予算額

区分	金額 (千円)	構成比 (%)
教育総務費	482,025	50.4
義務教育費	285,260	29.9
社会教育費	117,504	12.3
保健体育費	70,868	7.4
総額	955,657	100.0



(参考)

民生費当初予算額 (子ども未来課所管分)

区分	金額 (千円)
児童福祉費	916,058

(3) 教育予算の推移

年度	一般会計予算	増減率	教育費予算	増減率	構成比
令和 元年度	10,340,207	11.8	511,630	▲0.4	4.9
令和 2年度	12,148,438	17.5	1,340,830	162.0	11.0
令和 3年度	15,070,094	24.0	2,918,145	117.6	19.4
令和 4年度	13,567,556	▲10.0	1,512,424	▲48.2	11.1
令和 5年度	13,404,221	▲1.2	955,657	▲36.8	7.1

※各年度当初予算額

(4) 主な事業

【学校教育課所管】

食育推進事業（新規）（1,699千円）

給食を生きた食育の教材とし、四季と旬の食べ物の結び付き、地域や姉妹都市の伝統的食文化を織り交ぜ、子ども達が食と共に学べるよう推進を図る。

当別町一体型義務教育学校建設工事（継続）（224,194千円）

1年生から9年生までが一同に集い、「知・徳・体」を備えた世界に通用する人材を目指し、学習や部活動などの教育活動を展開する新たな義務教育のスタイルを実現するため、とうべつ学園のグラウンド整備を行う。

デジタル教育推進事業（新規）（17,625千円）

新しいデジタル社会に対応できる人材を育成するため、「AIドリル」を始めとした、デジタルツールの活用を進めることで、児童生徒の理解を深める授業を実施し、学力・学習意欲の向上を図るとともに、「プログラミング教育」や「デジタルリテラシー」等を学ぶ場面を創出する。

地域部活動支援事業（新規）（500千円）

少子化により部活動の維持が難しくなっていることから、一部の部活では「拠点校方式・合同部活動」をしている。当該方式による部活動下では学校の移動を伴うため、その移動に際して発生する経費負担の支援を図る。

とうべつ未来学推進事業（新規）（335千円）

社会で活躍する人材を育成することを目的として、各町立学校で実施している独自教科「とうべつ未来学」について、町にゆかりある人物によるキャリア教育を目的とした講演授業に係る経費等を計上し、その実施を支援する。

【社会教育課所管】

プログラミング教室事業（新規）（3,237千円）

子ども達を対象としたプログラミング教室を実施し、デジタル知識や技術の向上を図り、加速するSociety5.0社会を牽引する人材育成を目指す。

西当別コミュニティーセンター改修工事（新規）（50,000千円）

安心安全に利用できる公共施設維持管理のため、老朽化した西当別コミュニティーセンターの配管設備改修を実施する。

【子ども未来課所管】

認定こども園おとぎのくに施設整備事業(新規) (431,090 千円)

太美地区における子育て世帯の増加及び保育ニーズの高まりに対応するため、認可定員の増員を目的とした園舎建替費用の一部を民間運営法人へ補助することで、待機児童の発生を抑制する。

保育体制充実事業(継続) (12,960 千円)

国の基準を超えて配置している保育士等の補助対象人員を、従来の1人から3人に増やすことで、認定こども園の認可定員拡大や年度途中の園児の増加に対応するとともに、保育の質の向上及び保育体制の充実を図る。

子育て支援センター(西当別地区)運営業務委託(新規) (10,035 千円)

「認定こども園おとぎのくに」内にある子育て支援センターの運営について、民間活力による充実した子育て支援サービスを提供するため民間へ業務委託を実施する。